

2019年04月26日

【格付維持】

インドネシア共和国

外貨建発行体格付： BBB [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

経済は堅調に推移している。財政赤字の対国内総生産(GDP)比は前年より縮小し、政府債務比率は低水準にとどまる。経常赤字はやや拡大したが、外貨準備高は短期対外債務との対比で十分な規模に達する。政府・中央銀行によるマクロ経済の安定を重視した政策運営が支えとなり、外部からのショックに対する耐性は保たれている。以上を踏まえて、外貨建発行体格付BBBを維持した。2019年4月に実施された大統領選挙の開票速報によれば、ジョコ・ウィドド大統領が再選する見通しだ。公式結果の発表は5月の予定だが、同大統領がさらに5年間の時間を得ることは信用力評価にとってプラスになるとR&Iは考えている。2019年10月から始まる2期目の政策方針に注目する。

実質GDP成長率は2014年以降、5%前後で推移してきた。2018年は通貨ルピアに下げ圧力がかかる厳しい状況となり、中央銀行は対外面の安定に向けて数回にわたり政策金利を引き上げた。政府と中央銀行がマクロ経済の安定維持を重視した政策運営を続けたことの効果は大きい。2018年の実質GDP成長率は5.2%だった。2019年は主要輸出先の経済が減速傾向にあり、輸出の下支えは期待しにくい。主に内需に支えられ、実質GDP成長率は5%程度になるとR&Iは見込んでいる。

GDP比1~2%で推移してきた経常収支の赤字幅は、2018年は約3%に拡大した。原油価格の上昇に加え、投資活動の活発化による資本財輸入の増加も一因で、経済基盤の強化に資する赤字と考えることができる。国際通貨基金(IMF)の予測では2019年の赤字幅は2%台に低下する。対外債務残高は2018年末時点でGDP比36%。外貨準備高は2019年3月末時点で1,245億ドル、輸入額と政府の対外債務返済額の合計の6.8カ月分をカバーする。1年以内に償還される対外債務残高の約2倍に相当する。

2018年の中央政府の財政赤字はGDP比1.76%に改善した。原油価格の上昇などにより非税収が大幅に増え、堅調な内需と徴税効率の改善により税収も比較的高い伸びとなったことが収支の改善に寄与した。政府予算では2019年の財政赤字を1.84%と見込んでいる。歳出に関しては、過去数年間、増え続けてきた公共投資の伸びが抑えられた。インフラ整備は政府の重点政策であることには変わりはないが、人的資本への投資も拡充させる構えだ。政府はこれまで財政赤字の抑制に対する強い意志を示してきた。経済が堅調に推移していることも踏まえると、財政赤字はおおむね目標値に抑制できるとR&Iはみている。

中央政府の債務残高は2018年末時点でGDP比30%にとどまっている。国内で発行した国債の非居住者保有比率が約38%と高く、外貨建債務と合わせると政府債務の約60%を占める。国際金融市場の変動の影響を受けやすい構造となっている。安定した資金調達環境の維持には、マクロ経済の安定や財政赤字の抑制を重視した政策運営の継続と構造改革の推進が重要となる。

政府はインフラ整備と投資環境の改善に注力してきた。国家戦略プロジェクト(NSP)に指定されたインフラ・プロジェクトは着実に進んでいる。投資環境に関してはこれまでに16の経済政策パッケージを発表し、各政策を実行に移すための法整備も進んでいる。2018年には事業許認可手続きの簡素化を目的に、オンラインで一元的に手続きを行うサービス運用が開始された。政府の政策的取り組みは信用力を支える要素の一つとなってきた。良好な財政状況とマクロ経済の安定を維持しつつ経済の成長力を引き上げていくためには、インフラ整備、対内直接投資の促進、歳入の拡充、人的資本の向上、金融の深化などの課題に継続的に取り組む必要がある。政府の政策方針に注目する。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

【格付対象】

発行者：インドネシア共和国

名称	格付	格付の方向性
外貨建発行体格付	BBB（維持）	安定的

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
F号円貨債券（2015）	225	2015年08月13日	2020年08月13日	BBB（維持）
G号円貨債券（2016）	620	2016年06月21日	2019年06月21日	BBB（維持）
H号円貨債券（2016）	380	2016年06月21日	2021年06月21日	BBB（維持）
第1回円貨債券（2017）	400	2017年06月08日	2020年06月08日	BBB（維持）
第2回円貨債券（2017）	500	2017年06月08日	2022年06月08日	BBB（維持）
第3回円貨債券（2017）	100	2017年06月08日	2024年06月07日	BBB（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	原 一樹
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2019年04月22日
主要な格付方法	ソブリンの格付の考え方 [2018.02.20]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html>

格付関係者	インドネシア共和国
-------	-----------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報	政府を含む公的機関が作成した財政・経済資料
品質確保のための措置	政府を含む公的機関が作成した、またはそれに準じた信頼性が確保されている資料であること。
情報提供者	格付関係者

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。